

平成17年11月11日

各 位

会社名 東京急行電鉄株式会社
代表者名 取締役社長 越村敏昭
(コード番号 9005 東証第1部)
問合せ先 財務戦略室 主計部
IR担当課長 柏崎和義
(TEL 03-3477-6168)

子会社株式評価損の計上および中間期業績予想(単独・連結)の修正に関するお知らせ

・子会社株式評価損について

当社の連結子会社でありますTCプロパティーズ株式会社の株式につきまして、同社の実質価額に基づき、平成17年9月中間期において評価損を計上いたします。

(A) 子会社株式評価損	7,142百万円
(B) 平成17年3月期の純資産の額(A/B×100)	237,441百万円 (3.0%)
(C) 平成17年3月期の経常利益額(A/C×100)	46,175百万円 (15.5%)
(D) 平成17年3月期の当期純利益額(A/D×100)	23,405百万円 (30.5%)

・平成17年9月中間期の業績予想(単独・連結)について

1. 中間業績予想(単独)の修正について

(1) 平成17年9月中間期(平成17年4月1日~平成17年9月30日)の単独業績予想については、下表の通り、平成17年5月16日公表の業績予想を修正いたします。

平成17年9月中間期単独業績予想(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	111,600	25,300	11,200
今回修正予想(B)	115,100	32,000	14,200
増減額(B-A)	3,500	6,700	3,000
増減率(%)	3.1	26.5	26.8
(ご参考)前年同期実績(平成16年9月中間期)	120,681	28,960	9,702

(2) 上記修正の理由は以下の通りであります。

平成17年9月中間期は、売上高1,116億円、経常利益253億円、中間純利益112億円を予想しておりましたが、鉄軌道事業において輸送人員の増加による増収、不動産販売事業ではマンション用地販売が、不動産賃貸事業では商業施設の賃貸収入がそれぞれ計画を上回り、売上高は前回予想に比べて35億円増収の1,151億円、営業利益は前回予想に比べて57億円増益の353億円、経常利益では67億円増益の320億円、中間純利益は30億円増益の142億円となる見込であります。

2. 中間業績予想(連結)の修正について

(1) 平成17年9月中間期(平成17年4月1日~平成17年9月30日)の連結業績予想については、下表の通り、平成17年5月16日公表の業績予想を修正いたします。

平成17年9月中間期連結業績予想(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	680,000	24,700	8,500
今回修正予想(B)	681,300	34,200	9,000
増減額(B-A)	1,300	9,500	500
増減率(%)	0.2	38.5	5.9
(ご参考)前年同期実績(平成16年9月中間期)	513,373	41,615	17,536

(2) 上記修正の理由は以下の通りであります。

平成17年9月中間期は、売上高6,800億円、経常利益247億円、中間純利益85億円を予想しておりましたが、主に当社の鉄軌道事業、不動産事業の増収、増益により、売上高は13億円増収の6,813億円、営業利益は前回予想に比べて73億円増益の467億円、経常利益では95億円増益の342億円となる見込であります。

一方、平成18年11月末をもって閉館することとなりましたキャピトル東急ホテルの建物および設備の臨時償却額等58億円を特別損失に計上することといたしましたため、中間純利益では5億円増益の90億円となる見込であります。

以上